

授業科目名： 獣医衛生科学特論 A（東京農工大 学）		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 1 年次後期	授業形態： 講義科目		開講形態： 主指導教員によるゼミナール形式
授業のテーマ及び到達目標： 講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、博士論文の作成を支援する。			
授業の概要： 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、獣医衛生科学講座に所属する主指導教員の専門的知識を研究テーマに合わせて講義科目群として設置。			
授業計画： 獣医衛生科学講座に所属する指導教員の専門の研究分野について、ゼミナール形式で討議を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに直結する研究分野の文献収集・調査方法の指導、研究の進捗状況・成果に対する質疑応答及び博士論文のプロポーザル作成指導を行う。このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに直接的に関与する知識を養う。 <u>①学生の研究テーマに関する内容を講義し、必要に応じて教員はチュートリアル計画を立案する。</u> ②講義や演習を補完するような課題文献を指定し、それを読みディスカッションのうえにレポートにまとめるなどのアドバイスと指導を行う。 ③博士論文作成に必要な情報やデータの収集を指導する。 ④学会発表等での発表に対する準備を指導する。 ⑤研究プロポーザルの作成を指導する。 ⑥博士論文発表会での発表に対する準備を指導する。 ⑦博士論文の作成を指導する。  （白井 淳資） 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出 （竹原 一明） バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場 （永田典代） 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症 （藤川 浩） 食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全 （水谷 哲也）			

<p>家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症 (李 天成)</p> <p>人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学 (谷口 隆秀)</p> <p>発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断 (林谷 秀樹)</p> <p>集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態 (古谷 哲也)</p> <p>動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御 (石原 加奈子)</p> <p>食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析 (大松 勉)</p> <p>感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫</p>
<p>テキスト：特になし</p>
<p>参考書・参考資料等：特になし</p>
<p>学生に対する評価：受講状況と態度、ならびに講義内容の理解度などにより総合的に評価する。</p>